

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第20回研修を開催しました！」

第20回の研修は、令和6年11月9日（土）、盛岡市勤労福祉会館において開催しました。今回は、これまでの受講生も対象としたオープン講座として、12名の方に参加いただきました。

開会のあと、岩手県農林水産部流通課から土田泰輔6次産業化推進担当課長を外部講師にお招きして、岩手県の野菜の流通と販売事例についての講演をいただきました。本県における野菜流通の現状と6次産業化の可能性や、産直や系統販売におけるメリット・デメリットなどを分かりやすくお話いただきました。

休憩のあとの事例発表では、本研修の修了生お二人から、就農までの経緯や現在の取り組みなどをお話いただきました。事例発表者には、滝沢市でさつまいも栽培と干し芋の加工に取り組まれている熊谷恭子氏と、久慈市でほうれんそうやピーマンなどを栽培されている佐藤

正義氏から、就農までに大変だったことや今後の目標など、受講生にとって前向きになるアドバイスが盛りだくさんでした。

最後に、受講生と参加修了生を交えての意見交換会を実施しました。参加者全員がお互いの顔が見えるような形にレイアウトを変更し、雇用就農、半農半Xなど、多様な形で農業と関わっている修了生からの現状報告やそれぞれの目指す農業スタイルへのアドバイス、質疑応答など、限られた時間の中でしたが、内容の濃い意見交換が出来たのではないのでしょうか。

改めて、受講生と修了生との繋がりを大切にしていきたいと感じました。

次回研修は、11月22日（金）、盛岡市勤労福祉会館において、農地関連法制度についての講義と、各研修会受講アンケートへの回答及び質疑応答を開催予定です。



第20回研修の様子



岩手県における野菜の流通と販売事例について講演する
岩手県農林水産部流通課 土田 泰輔 6次産業化推進担当課長



意見交換会の様子



意見交換会において受講生からの質問に回答する事例発表者
（左：佐藤 正義 氏 右：熊谷 恭子 氏）